

配置図



測量図があります。座標値を使った敷地の書き方を教えてください。



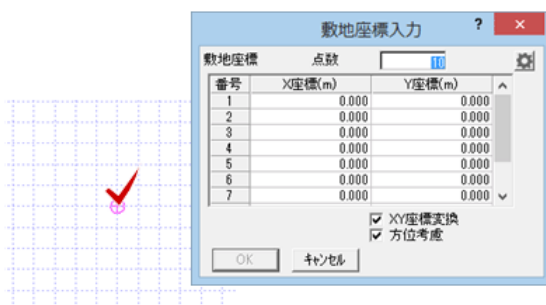
「敷地」メニューの「敷地」の「敷地座標入力」を使用して、敷地を作成します。

地番	10-1		
No	Xn	Yn	
1	1370.915	1592.500	
2	1386.839	1591.134	
3	1386.360	1581.124	
4	1370.915	1581.125	
【座標】			

- 1 「敷地」メニューから「敷地」の「敷地座標入力」を選びます。



- 2 基準点をクリックすると、「敷地座標入力」ダイアログが表示されます。



- 3 「敷地座標入力」ダイアログで、「点数」を「4」と入力し、「X座標 (m)」「Y座標 (m)」項目の単位が m になっているのを確認します。

- 4 測量のデータを基に座標を入力するときは、「XY座標変換」は ON にして、そのままの X と Y の座標値を入力します。

- 5 入力されている方位マーク（傾き）を考慮する場合は「方位考慮」を ON にします。



● お手元の測量図の値が「mm」単位表示の場合には、配置図の「専用初期設定：丸め・マーク設定－設定 1」の「敷地座標」で単位を mm に変更します。

● 方位マークが入力されている場合に、「方位考慮」を ON で敷地を座標入力すると、方位マークに合わせて敷地が回転して配置されます。

6 座標値を参照しながら、「敷地座標入力」ダイアログの各番号に座標値を入力して、「OK」をクリックします。

地 番		10-1	
No	Xn	Yn	
1	1370.915	1592.500	
2	1386.839	1591.134	
3	1386.360	1581.124	
4	1370.915	1581.125	

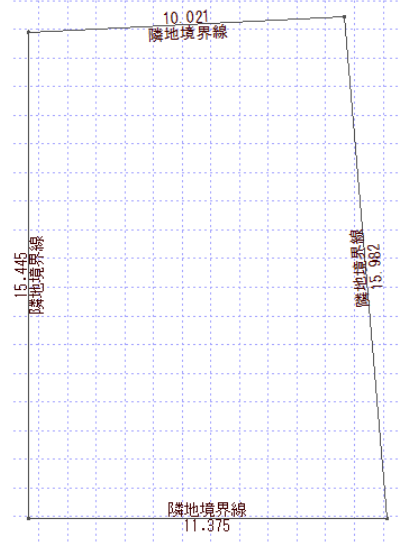
敷地座標入力

敷地座標 点数 4

番号	X座標(m)	Y座標(m)
1	70.915	92.500
2	86.839	91.134
3	86.360	81.124
4	70.915	81.125

☒ XY座標変換
☒ 方位考慮

OK キャンセル



- 指定した座標値が入力可能な範囲を超える場合、「敷地座標処理」ダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると、入力可能な範囲に座標が変換され、「敷地座標入力」ダイアログに戻るので、確認して再度「OK」をクリックします。

敷地座標入力

敷地座標 点数 4

番号	X座標(m)	Y座標(m)
1	31370.915	41592.500
2	31386.839	41591.134
3	31386.360	41581.124
4	31370.915	41581.125

☒ XY座標変換
☒ 方位考慮

OK キャンセル

敷地座標処理

敷地が入力範囲を超えて設定されています。
配置基準からの相対座標に置き換えますか？

はい(Y) いいえ(N)

敷地座標入力

敷地座標 点数 4

番号	X座標(m)	Y座標(m)
1	0.000	11.376
2	15.924	10.010
3	15.445	0.000
4	0.000	0.001

☒ XY座標変換
☒ 方位考慮

OK キャンセル

- 座標値の最初と最後が同じ値の場合、最後の座標値は「敷地座標入力」ダイアログの点数に含めません。次図の場合、点数を 5 にして入力すると、メッセージが表示され敷地を入力できません。

敷地座標入力

敷地座標 点数 5

No	Xn	Yn
1	1370.915	1592.500
2	1386.839	1591.134
3	1386.360	1581.124
4	1370.915	1581.125
5	1370.915	1592.500

敷地座標処理

敷地が重複しています。これ以上の処理はできません。

OK

- 座標値は、必ず時計回りか反時計回りに入力します。1→3→2→4 など、適当な順に座標値を入力すると、メッセージが表示され敷地を入力できません。

敷地座標処理

敷地が重複しています。これ以上の処理はできません。

OK